

謹賀新年



鹽竈十福

発行所 〒985-8510 塩竈市一森山一番一号
 志波彦神社
 鹽竈神社 社務所
 電話 〇二二三六七一六一(代)
 FAX 〇二二三六五〇五五三〇
<http://www.shiogamajinja.jp/>



昭和から平成への御代替わりの時、先帝崩御の悲しみに日本中が包まれていた。しかし、ただちに今上陛下は三種の神器を継承され、天皇の御位を踐祚せられる。そうして、新帝の御名によって公布された新元号が「平成」であった。敗戦による米国の占領時、神道指令の執行者によって元号廃止が指導されている。しかし、一千二百年余の文化伝統が外国権力によって廃止させられることへ、多くの国民が反対の声をあげた。それは根強く大きな民意となり、皇室伝統と深く結びつく元号制は守られたのである。昭和四十年代後半、今度は法的根拠を持たぬ元号を廃止し西暦に統一すべきとの論が一部の日本人によって主張されるようになった。旧皇室典範に明記されていた元号に関する規定が、現憲法下の皇室典範では消失していた為である。そこで再び、国民は元号を支持する声をあげた。それは大きなうねりとなって元号法制化運動へと繋がり、昭和五十四年に元号法は成立している。国民の文化的心理は元号の伝統を支持したのであった。今日、元号廃止論はないものの西暦使用を拡げて国民の意識から元号を遠ざけようとする企みは多い。一世一元と定められた元号によって、日本人は当時の国の歴史そして己の来し方を想う。時代時代の喜び悲しみを御在位の天皇の御代として国民皆が共有できる。有難く誇るべき文化といっている。



御代替りにあたりて

志波彦神社 宮司 鍵 三夫
鹽竈神社

平成三十一年（皇紀二千六百七十九年）新春を寿ぎ、御皇室の弥栄と御国の安泰を御祈念申し上げます。

天皇陛下におかせられました。本年四月三十日に御譲位され、皇太子殿下が五月一日に御即位されます。国民挙つて奉祝の誠を捧げ、官民一体となり諸儀式が恙無くも荘厳に執行されます事を願つてやみません。

昨年、当社報「しおがまさま」では三回にわたり、陛下のお言葉・御製を拝し、平成の御世三十年を振り返つてまいりました。

昭和天皇の崩御により昭和六十四年一月七日に第百二十五代天皇陛下に即位され、翌八日に「平成」と改元され新たな御世が始まりました。「即位後朝見の儀」における「いかなるときも国民ととも

もにあることを」とのお言葉のままに、国民に寄り添われたいお姿は、地方事情御視察等の行幸啓における国民との触れ合いでは感動を与え、また度重なる自然災害における被災地での御見舞のお言葉は、被災者に希望を与えてこられました。

特に、東日本大震災発生直後のお言葉は、被災者のみならず国民皆が、お互いに支え

あつて復興に向かつていく力を頂いたことでしょうか。また、先の大戦における御英霊への慰霊の御巡幸は、戦後七十数年を過ぎた今も戦争を決して忘れることなく次代に語り継いでいく大切さをお示しになられたもの、と拝察いたします。

平成から新たな御世へ、天皇陛下から皇太子殿下に受け継がれる大御心を心としていかなければなりません。本年も氏子崇敬者各位には大神様の御加護のもと、弥益の御繁栄を祈念致し新春の辞と致します。

年頭の御挨拶



(株) 渡 會 代表取締役会長
志波彦神社 責任役員
鹽竈神社 渡 會 邦彦

新年あけましておめでとうございます。

平成三十一年新春をお健やかに迎えられた皆様にご心よりお喜びを申し上げます。今年、天皇陛下が四月三十日に御譲位せられ翌五月一日新帝即位の御代替わりの時を迎えます。この御佳節にあたり、御皇室の弥栄をひたすらにお祈り申し上げます。

東日本大震災より間もなく八年となります。愛する家族や大切な友人を失った被災地の私共に、天皇皇后両陛下には悲しみを共にせられ労いと励ましの御言葉をおかけ戴きました。それは、私達の大きな勇氣と希望となりました。

その後も多くの災害が日本各地で発生しました。被災地にあつて懸命に生きる幼子やお

年寄りの姿、そして多くのボランティアの方々の様子やテレビの画面に映し出されました。その都度、被災地を御見舞いする両陛下の御姿が心に焼き付いています。常に国民と共にありたいとされる御皇室の有難さを強く感じました。

ありました。そして、国民の為に五穀豊穡を祈り收穫への感謝を捧げる御皇室の祈

りの継承を、私共もしつかりと心に刻んでまいりたいと思っております。

鹽竈神社は、昔より漁船漁業更には塩釜港に関わる人々に崇敬され、大漁と安全航海を祈願されてきました。そして、その御神徳により多くの海の幸がもたらされました。この「しおがまさま」への祈りと感謝の継承こそは、私共にとつて御皇室の姿に習う道であると信じています。

結びに、大神様の御加護の下、皆様の御健勝と御多幸を祈念申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。

謹みて新年のご祝詞を申し上げます
平成三十一年 己亥 元旦

志波彦神社 鹽竈神社

代表役員 宮司

責任役員

阿部 勸九郎
佐浦 弘一
鈴木 雄一
渡會 邦彦
野口 次郎

総代

渡邊 昭二
佐藤 徳夫
郷家 彰夫
鈴木 野郎
菅野 一雄
小島 邦雄
佐藤 仁一郎
和田 重信
和賀 忠信
志賀 重信
阿部 仁信
水野 暢大
鈴木 健史
桑原 茂史
志賀 直哉
佐藤 晴一
佐藤 文吉
菅原 宏和



年頭のご挨拶

塩釜警察署 署長 小野寺 雅美

新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春を迎えられましたことと心からお慶びを申し上げます。

また、旧年中は警察業務の各般にわたり多大なご理解ご協力を賜りましたこと、厚く御礼を申し上げます。

年頭に当たりまして筆を執らせていただきますことは誠に恐縮の限りでございます。

平成三十年三月、十五年振り二度目の塩釜警察署勤務を命ぜられて着任し、着任間もない三月二十九日に執り行わ

れた志波彦神社例祭に参列させていただきましたが、笙の厳かな音色と、受け継がれてきた、巫女さんの優美さと思いを感ずる舞に心を打たれました。

また、鹽竈神社花まつり並びに志波彦・鹽竈神社みなと祭における神輿の市内巡幸や海上渡御は実に勇壮華麗で、神輿選御で最後の力を振り絞る氏子の皆様の姿は、見る者に感動を与え、神輿渡御をとおして志波彦・鹽竈神社に対する拠り所としての結束と団結力を肌で感じ、警備活動に

携わる署員一同を引き締め事故防止対策を図らせていただきました。

さて平成三十年を振り返ってみますと、管内二市三町の治安情勢につきましては、犯罪の抑止と検挙の強化、交通事故の抑止等の警察活動を推進した結果、検挙率は増加、交通死亡事故は減少するなど、管内の治安は概ね良好であったと感じております。

他方で全国的に発生が増加している「振り込め詐欺」を始めとする特殊詐欺による被害は、当警察署管内でも増加

傾向にありますことから、本年も検挙活動と併せて重点的な広報対策を強化してまいります。

また、万引きや交通事故の発生件数も増加しており、身近に起きる事件、事故の抑止という点においては課題を残しているところではございますが、塩釜警察署が地域の安全安心の拠り所となりますよう、今年も署員一丸となって治安維持に取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、僭越ではございますが、皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

東北歴史博物館館長 鷹野 光行

新年明けましておめでとうございます。

昨年には東北歴史博物館での「伊達綱村公三百年遠諱記念特別展 伊達綱村」の開催にあたりまして、ひときかたならぬお世話になりました。厚く御礼申し上げます。また特別展の会期の末期ではございましたが、平成十一年十月の開館以来三百万人の方々にご利用

いただいたこととセレモニーを実施することができました。これもふだんから地域の皆様にお支えいただいたてまいりましたおかげと感謝しております。

綱村展では、綱村公の幼少時の書をはじめ父や母を思う心、領内の政治はもとより、信仰のあかしとしていくつもの神社や寺院を造営したり復

興させたことや、「伊達治家記録」などの歴史書や現在に残された様々なことをとりあげました。また塩釜の町や鹽竈神社の今にも深く関わりのあることも特に一章をもうけて展示いたしました。展示会の楽しみ方はいろいろだと思えますが、私には最後に展示されていた「塩竈凶屏風」で、展覧会のチラシやポスターに

も散りばめられていた鹽竈神社に参詣する人や町を歩く人たちを見つめるのも楽しいことでした。

平成の次の元号となる二〇一九年度は、春の「最先端技術でよみがえるシルクロード」法隆寺・敦煌莫高窟・パミヤン」をはじめ三回の特別展が予定されております。特別展は博物館の魅力をもっと引き立てるものとして考えております。どうぞ今年も東北歴史博物館を温かく見守っていただきますようお願いいたします。

氏子崇敬会

会長 鈴木 茂一

副会長 桑原 雄一

我妻 文雄

安部 治

佐藤 利男

引地 男

和藤 善彌

齋藤 繁夫

内形 嗣雄

香取 雄

副委員長

副委員長

副委員長

敬神婦人講

講長 宇仁 一美

副講長 佐々木 良子

岡田 久子

今野 紀美子

氏子青年会

会長 千田 忠一

副会長 永田 透

後藤 昭夫

松木 昭夫

節分祭年男女世話人会

会長 佐藤 武志

副会長 佐藤 一臣

御神田奉齋会

会長 鈴木 雄一

鹽竈神社博物館審議委員会

審議委員 濱田 直嗣

毛田 與八郎

太田 伸

第七十一回 奉献乾海苔 品評会

審査会 一月六日(日)

午前九時 齋館

感謝祭 一月十一日(金)

本年も当社を会場に「鹽竈神社奉献乾海苔品評会」が開催されます。

審査会は一月六日(日)に実施し、十帖一束約三三〇g以上の乾海苔を一点として色・艶・手触りなどを厳選し受賞者を決定します。

十一日(金) 午前十時から関係者参列のもと奉献感謝祭が斎行されます。

優賞者および準優賞者は、両陛下・皇族方への乾海苔献上という榮譽に浴することになっています。

当日は、祭務所に出品された乾海苔を展示いたします。御参拝の際には、宮城県名産の乾海苔を豊かの香りとともに、是非御覧下さい。



節分祭

二月二日(土)・三日(日)

恒例の「しおがまさまの豆撒き」節分祭。

本年は二月二日(土)・三日(日)のそれぞれ午後三時から鹽竈神社左右宮において追儺式を斎行し、志波彦神社前の特設舞台より袴姿の年男・年女らが「福は内、鬼は外」の掛け声とともに福豆を撒き、厄除と招福を祈願いたします。また御協賛いただいた福景品の当り籤も、一緒に撒かれます。御誘い合せのうえ、足をお運び下さい。

豆撒きの参加申込みは以下の世話人方へお申込み下さい。

節分祭年男女世話人会

〈市外局番〇二二〉

・会長

佐藤 武志

南町 (株)菅原園茶舗

(三六二)〇〇二八

・佐藤 一臣

南町 漢方の塩竈芍薬堂

(三六二)七八八〇

・郷家 照夫

南町 郷家第三歯科医院

(三六二)四五七一

・小島 勇馬

藤倉 (株)小島蒲鉾店

(三六四)四八五五

・松本 喜八郎

旭町 (株)松本左官工業

(三六二)三二七五

・佐藤 仁一郎

南町 (株)ごんきや

(三六七)七七七七

・菅原 周二

桜ヶ丘 (株)白壽殿

(三六六)四一四一

・櫻井 ふみ子

海岸通り 和風スナック つた

〇九〇(五八四三)二七二三

・鈴木 彦彦

権現堂

(株)丸伸佐藤商店

〇九〇(二〇六九)二〇七〇

・大友 義雄

桜ヶ丘 (株)白壽殿

(三六六)四一四一

・大場 喜藏

南錦町 大場酒店

(三六七)〇九〇六

・高瀬 聡

尾島町 たかせ美容室

(三六六)六四二〇

新嘗祭斎行

十一月二十三日、一年の収穫を大神様に感謝する新嘗祭(産業振興大祭)が、斎行されました。

当日は、祭典と並行して、御神田米をはじめ鮮魚や蒲鉾などの地場産品の数々を満載した奉曳車を曳いて御神前にお供えする「初穂曳」も実施されました。

表坂下を出発した奉曳車は、氏子の奉仕により塩竈市内を奉曳し志波彦神社大鳥居前まで曳き上げられ、奉献品は一人ひとりの手によって、御両社御神前に丁寧にお供えされました。

新嘗祭斎行に際し、左記の方々から各種産物を奉納頂きました。ここに御芳名と献品を御紹介いたします。

(品目別・順不同・敬称略)

新嘗祭奉献者御芳名

白米

宮城県農業協同組合中央会

仙台農業協同組合多賀城支店・JAいしのまき・JA

みやぎ登米・(株)白壽殿・鈴木邦彦・文屋清一・小柳建

設(株)

稲穂

大場一美

酒類

阿部勘酒造(株)・(株)佐浦・(株)一ノ蔵・麴屋酒造店・和田電気工事(株)・(株)丸要漁業部・(株)やまや・丸福(株)・エムブリント(株)

鮮魚

(株)塩釜魚市場・塩釜市魚市場 船卸売協議会・塩釜地区機問屋協同組合・塩釜市魚市場 買受人協同組合・塩釜市水産振興協議会・(株)渡會・(株)ワタベ魚類・ヤットハチ 鈴木水産(株)・(株)三ツ扇・(株)菊池商店・山田水産 山田祐子・(株)玉澤商店・(株)魚力商店・第十一桂丸・第十三千代丸・大黒浩栄丸・六十八号仁庄丸・蛭子丸・吉栄丸・大黒丸・保栄丸・第十八とべしま丸・(株)長根水産・(株)紀国谷商店

蒲鉾

マルブン食品(株)・プリンス食品(株)・(株)阿部善商店・(株)カネコ橋沼商店・(株)シーフーズあかま・(株)ヤマス蒲鉾店・(株)阿部平蒲鉾店・(株)高浜・

(株)小島蒲鉾店・(株)大膳・勝
 山水産(株)・水野水産(株)・(有)
 マルヨ鈴木商店・(有)増友商
 店・(株)松島蒲鉾本舗

野菜・果物

(株)塩釜地方卸売市場・八百
 大分店・(有)北浜フード・(有)
 八百照・山田宏・千葉洋一・
 鈴木正勝

菓子

サントノーレ洋菓子店・ヤ
 マギシ洋菓子店・丹六園・
 土井精菓・梅菓堂・(有)栄太
 楼・オダカ洋菓子店・海鮮
 せんべい塩竈(株)

その他食品

(株)塩釜水産食品・(株)丸大食
 品・岸柳水産(株)・(株)明豊・
 (株)間宮商店・(株)ヤママサ・
 (株)ヤマカ勝又商店・理研食
 品(株)・(株)アベチヨウ・ぜん
 ぎよれん食品(株)塩釜食品工
 場・シヨップサトー・(株)十
 字屋・太田與八郎商店・蜂
 屋食品(株)・えびだんごや・
 (株)東日本ソルト仙台営業所・
 (株)松田製粉

肥料

片倉コープアグリ東北支店

天皇陛下御即位三十年
記念事業竣工奉告祭

天皇陛下御即位三十年を奉
 祝し御皇室の尊さを新たな御
 世に伝えるため、記念事業と
 して境内の参道に「手すり」
 の設置と一部舗装工事を実施
 しました。
 昨年十一月十七日に奉賛者
 百十名参列のもと竣工奉告祭
 が斎行されました。

奉賛者御芳名

(敬称略・金額お申込み順)
 平成三十年九月一日から
 十一月十七日まで

金壹百萬圓也 十一月十七日まで
 塩竈市海岸通 白幡 泰三
金伍拾萬圓也 白幡 泰三
 塩竈市梅の宮 梅津 昭男・きね子
金貳拾萬圓也 東京都品川区 畑 照子
金拾萬圓也 塩竈市西町
 阿部勘酒造(株) 代表取締役 阿部勘九郎
 青森県青森市 城ヶ倉神社奉賛会
 発起人代表 丹野美穂子

塩竈市南町 (株)わかば
 レンタルコスチューム遊美
 会長 遊佐 真人
 塩竈市清水沢 (有)塩竈燃料商社
 代表取締役 志野 礼三
 仙台市青葉区 宮城県味噌醤油工業
 協同組合
 仙台市太白区 阿部 秀一
 塩竈市小松崎 高橋 良子
 塩竈市新浜町 (株)菊池商店
 代表取締役 菊池 康晴
 仙台市宮城野区 田村うらら
 多賀城市笠神 マルコ洋品店 内海 朋子
 多賀城市伝上山 遠藤 善雄
 塩竈市桜ヶ丘 (株)白壽殿
 代表取締役社長 菅原 宏和
 塩竈市本町 浦霞醸造元 (株)佐浦
 代表取締役社長 佐浦 弘一
 石巻市桃生町 阿部 史子

塩竈市清水沢 (株)鈴木工務店
 代表取締役 鈴木 雄一
 仙台市若林区 (株)仙台大門
 代表取締役 加藤 康夫
 東京都港区 (一社)日本塩工業会
 仙台市青葉区 カメイ(株)
 代表取締役社長 亀井 文行
 塩竈市宮町 鈴木眼科医院
 鈴木 健史・昭子
 仙台市青葉区 岡崎法律事務所
 岡崎 貞悦
 埼玉県さいたま市 戸島 隆志
 仙台市青葉区 櫻井 道子
 塩竈市宮町 汐のや
金伍萬圓也 仙台市青葉区
 (株)阿部和工務店
 代表取締役社長 松山 克也
 多賀城市中央 (株)阿部龜商店
 代表取締役 阿部 仁
 塩竈市港町 興和海運(株)
 代表取締役 湯村 健介

塩竈市貞山通 塩竈港運送(株)
 代表取締役社長 徳永 政男
 塩竈市南町 郷家 昭夫
 塩竈市みのが丘 堀内物産店 堀内 剛
 塩竈市伊保石 (有)北浜フード
 代表取締役 引地 正人
 塩竈市中の島 (有)丸ツ津田商店
 代表取締役 津田 誠
 東京都練馬区 池辺 常士
 塩竈市東玉川町 (株)ベルシステム
 代表取締役 鈴木 朝博
 塩竈市北浜 佐藤 昭夫
 塩竈市中の島 津田 俊夫
 仙台市泉区 小原由美子
 岩手県釜石市 久保 和美
 塩竈市杉の入 (有)クリーンスライフ大累
 ダスキン松島
 代表取締役 大累 正明
 仙台市青葉区 (有)フェアリー
 代表取締役 小原由美子
 仙台市青葉区 能美防災(株)東北支社
 支社長 嶋宮 浩栄
 塩竈市北浜 水野水産(株)
 代表取締役 水野 暢大

塩竈市宮町 渡辺 東洋
塩竈市本町 鈴深商店
多賀城市下馬 代表取締役
㈱ウオータープランニング

代表取締役 早坂 幸治
仙台市宮城野区 JXTGエネルギー㈱
塩竈市向ヶ丘

㈱森山造園 代表取締役 森山 克己
塩竈市宮町 丹野貴美子
仙台市青葉区 仙台ターミナルビル㈱

代表取締役社長 松崎哲士郎
塩竈市本町 伊勢 和子
岩手県下閉伊郡 ㈱サトー

代表取締役 佐藤 充
塩竈市清水沢 ㈱リンベル
茨城県古河市 坂東 智子
塩竈市西玉川町 医療法人 菅野愛生会

菅野 庸 塩竈市新浜町 渡邊 昭二
塩竈市北浜 ㈱花久生花店
塩竈市松陽台 千田アルミ建材

千田 忠一 金参萬圓也
塩竈市港町 ㈱キヤステイング大王

浅野 玲子 代表取締役
仙台市宮城野区 ㈱庄子
代表取締役 庄子 明彦

多賀城市中央 東洋キャンパス
塩竈市中の島 鈴木 正視
塩竈市北浜 津田寿美子

㈱ヤマス蒲鉾店 代表取締役 鈴木 健一
塩竈市みのが丘 松本工務店 松本 彦志
塩竈市宮町 大阪府羽曳野市 葉山 尚器

大崎市古川稲葉 菅野 晋一
石巻市前谷地 小林 清男
広伸建設㈱ 代表取締役 齋藤 光弥

杜の都信用金庫 星 倫市
塩竈市新浜町 渡辺喜一郎
塩竈市桜ヶ丘 菅野 静枝
塩竈市花立町 佐々木元樹

塩竈市千賀の台 塗 守
仙台市青葉区 ㈱伊達屋 高橋 孝典
塩竈市宮町 さくら美容院 櫻井 正治
塩竈市南町 佐藤 百治
塩竈市尾島町 塩釜支店

㈱七七銀行 塩釜支店
塩竈市西町 ㈱櫻樹
代表取締役 櫻井 敏裕

塩竈市新浜町 ㈱塩釜魚市場
代表取締役社長 志賀 直哉
塩竈市松陽台 丹野美代子
塩竈市本町 ㈱おさんこ茶屋本店

鈴木 雄三 塩竈市北浜 ㈱志賀石材店 志賀 重信
宮城郡利府町 村岡 修
塩竈市北浜 ㈱博光社 松本 尚己

塩竈市尾島町 洞口なを子
仙台市青葉区 白石市福岡蔵本 ㈱松田製粉
塩竈市南錦町 ㈱サイトースタジオ

代表取締役 吉木 由美
塩竈市北浜 東北重機工事㈱
代表取締役 千葉 浩介

宮城郡松島町 加藤 誠一
塩竈市港町 塩釜ガス㈱
塩竈市長沢町 鈴木 俊子
塩竈市藤倉 阿部 洋一

塩竈市白菊町 代表取締役 佐々木眞一
塩釜地方卸売市場 須田 健夫
埼玉県さいたま市 金三萬圓也

仙台市宮城野区 東北塩元売協会
代表取締役 宮澤 啓祐

塩竈市新浜町 東商店 東 勝治
塩竈市栄町 安倍 文雄
塩竈市今宮町 ㈱エム・ケー建築 設計事務所

亀山 満昭 塩竈市本町 梅果堂
塩竈市南錦町 石橋 温子
塩竈市南錦町 大場 喜藏

塩竈市本町 櫻井 有一
仙台市太白区 ㈱松谷商店 松谷 明浩
多賀城市東田中 櫻井 三郎
多賀城市後染町 内形 健・博子

多賀城市八幡 大場 一美
塩竈市泉沢町 東海林 正一
塩竈市桜ヶ丘 佐々木 登・みち子

塩竈市楓町 原田 祐市
仙台市宮城野区 小林 絵里
東京都大田区 石田 弘
塩竈市新浜町 佐藤漁業㈱

代表取締役 佐藤 晴一
塩竈市港町 プリンズ食品㈱
塩竈市越ノ浦 菊地 伸行
塩竈市母子沢町 和泉 昭彦

塩竈市北浜 千葉 潔
塩竈市栄町 三浦千鶴子
塩竈市石堂 二瓶 林吉

二瓶 建具店 二瓶 林吉
塩竈市港水沢 清水 賢一
塩竈市本町 本間 正明
塩竈市新浜町 ㈱ダイイチ津田商店

津田 武彦 塩竈市千賀の台 佐藤 俊夫
塩竈市西町 えびだんごや 海老さつき
塩竈市尾島町 キクニ㈱

代表取締役 桑原 茂
塩竈市小松崎 亀山 洋子
金三萬伍千圓也 仙台市宮城野区 阿部久美子
塩竈市清水沢 伊藤 育生・けい子・直晃

金三萬圓也 ㈱横善商店
代表取締役 横田 善光
塩竈市北浜 勝山水産㈱ 引地 利男
塩竈市貞山通 ㈱高浜 氏家 瑞恵

塩竈市宮町 氏家 瑞恵
多賀城市大代 氏家 紘一
塩竈市北浜 ㈱ディーオーアイ

土井写真館 代表取締役 土井 剛

講社だより

昭和二年、第十一代古川東京宮司の時、遠方の崇敬者の便宜を図り鹽竈講社が創立されました。

翌三年には福島支所が設立、講員は約千名であり、毎年職員が出向し祭典を奉仕してまいりました。約二十年後には解散となりましたが、その後現在も続く各支部が設立されました。大河原支部(昭和十八年)、飯坂支部(昭和十九年、現飯坂千人講)、釜石支部(昭和十九年)、大槌支部(昭和三十年、吉里吉里講として設立)、新潟亀田講(昭和三十三年)など永年多くの講員が参拝しています。また単独講員として数多くの皆様が講社大祭に参列しています。

本年は鹽竈講社が設立され九十周年の佳節を迎え、鹽竈講社設立九十周年記念大祭が十月九日より十一日まで盛大に斎行されました。これを記念し全世話人に対し感謝状が贈呈されました。また永年の継続講員に対し表彰状と記念品が贈呈されましたので、御芳名を御紹介いたします。

また、退任される世話人へ感謝状が、新任の世話人へ委嘱状が交付されました。大祭期間中に神楽を奉納頂く団体にも感謝状が贈呈されました。併せて御紹介いたします。(敬称略)

平成三十年度

継続講員表彰者

◇八十年表彰

阿部 喜久男・高橋 強

高橋 貢・高橋 幸雄

高橋 一衛・門間 耕一

佐藤 市雄・高橋 勝彦

千葉 一昭・高橋 幸衛

◇七十年表彰

内海 洋志・経塚 米子

守谷 とよ子・海老 賢一

鈴木 康夫・大山 久雄

橋沼 幸造・太幸 充子

星 嘉悦・千葉 ちい

阿部 正明

大河原支部(六名)

村上 泰司・太田 善昭

佐藤 忠義・庄子 敏雄

太田 正幸・遠藤 清

◇六十年表彰

川嶋 孝志・鈴木 富久子

菅原 宏和・熊谷 敬子

大内 勝寿・高橋 芳之助

大河原支部(四名)

高橋 ウメコ・鎌田 律子

菅野 勉・岡崎 学

菅野 勉・岡崎 学

◇五十年表彰

車塚 修一・小林 正子

竹澤 和夫・堀内 進

日野 はるよ

大河原支部(二名)

岩間 廣孝

◇四十年表彰

井川 登美子・伊勢 兵助

高木 英助・外川 晴信

野村 豊・渡辺 喜一

岩松 頼子・後藤 進

中野 富子・鈴木 健治

山田 静代・岡田 桂子

相沢 幸男・氏家 進

菊地 富士子・松谷 浩

鈴木 なを多・設楽 三郎

熱海 健・阿部 洋一

菅原 みや子・佐々木さだ子

鈴木 和夫・川野 伸夫

松本 カオル・岩淵 正弘

滝 健一

大河原支部(一名)

今野 武司

◇三十年表彰

猪狩 惠美子・猪狩 嘉光

猪狩 登志子・伊藤 隆

伊東 泰彦・氏家 久枝

内海 勝男・甲斐 晶子

高橋 一夫・高橋 希明

日向 清志・二瓶 義克

星山 和義・鈴木 金善

門間 強・菅原 澄子

阿部 惠美・広谷 和夫

齊藤 広

大河原支部(一名)

真壁 恵一

大槌支部(三名)

岩間 保美・田中 邦昭

田中 拓哉

◇二十年表彰

熱海 順子・荒井 浩之

伊藤 國雄・大槻 泰弘

大浪 幸子・小澤 英夫

加藤 盛二・川野 美智子

菊地 梅乃・庄司 美幸子

鈴木 一令・鈴木 貞子

関場 武男・関場 政子

田中 幸枝・永井 肅郎

長嶺 桂子・畑中 真由美

早坂 養子・樋野 さち子

八巻 とき子・和田 ひろえ

我妻 洋志・水間 正浩

(術美住建輝 伊藤浩文)

(柳三愛工芸 千葉安宣)

(柳長谷川製作所)

大河原支部(二名)

高橋 清和・武山 雄二

大槌支部(三名)

倉本 光男・佐野 忠男

小国 次雄

岩出山講(二名)

山蔭 秀斗・中鉢 光徳

◇十年表彰

阿部 幸一郎・伊藤 けい子

伊藤 直晃・菅野 紀恵子

熊谷 久美子・進藤 奈月

大河原支部(五名)

佐藤 巖・瀬戸 剛

堀籠 則孝・太田 衛

鈴木 富雄

大槌支部(一名)

佐々木 福治

岩出山講(五名)

藤原 恵子・庵原 みや子

布塚 巧・佐々木 和子

佐々木 睦夫

塩釜報恩講(三名)

亀山 満昭・下山 雄司

松本 喜八郎

洗心講(二名)

高橋 弘明・及川 義雄

退任世話人

小川 剛正(覚明誕生講)

新世話人

佐々木 明光(岩出山講)

西村 光男(洗心講)

神楽奉納団体

榊崎法印神楽保存会

(平成二年より奉納)



参拝記録

九月から十一月にかけて当社を正式参拝された方々を左記に御紹介いたします。(敬称略)

九月

- 二日 國學院大學大学院客員教授 中西正幸氏
- 三日 國學院大學指定実習Ⅱ受講者 五名
- 四日 北海道・宗谷支部神職研修会 六名
- 五日 神奈川県・水川神社総代研修旅行 二十名
- 十一日 群馬県・前橋東南地区神社氏子総代会 五十名
- 十七日 福島市大笹生鎮座 塩竈神社総代研修会 七名
- ” 洗心講世話人会
- 二十六日 石川県・白山比咩神社職員研修旅行 十四名
- ” 神宮御職員 三名

- ” 東北式内社顕彰会 十五名
- 二十八日 海上自衛隊横須賀地方隊 第四十一掃海隊 掃海艇「ちちじま」 十二名

十月

- 三十日 神奈川県・鶴ヶ岡八幡宮氏子崇敬者会 八十名

- 四日 石川県・白山比咩神社職員研修旅行 十四名
- ” 愛知県・碧南市長 禰宜田政信氏ほか十三名
- 十四日 塩釜ユネスコ協会 十九名
- 十九日 レックス 十名
- 二十二日 茨城県・千勝神社「榎会」 二十五名
- 二十四日 島根県・出雲大社職員研修旅行第一班 二十三名

- ” 福島県・会津若松市敬神婦人会 四十八名
- 二十六日 東北地区婦人神職協議会 二十六名
- 二十九日 島根県・出雲大社職員研修旅行第二班 二十六名

十一月

- 四日 青森県・高山愛好会 十三名
- 六日 群馬県・榛名神社研修旅行団 二十名
- 七日 島根県・出雲大社職員研修旅行第三班 二十名
- ” 長野県神社庁南佐久支部 二十八名
- ” 長野県神社総代会南佐久支部 二十八名

- 十三日 東北代々木会 十名
- 十四日 国際ソロブチミストふくやま 二十名

青山公三百年遠忌記念シンポジウム開催



る綱村公の数々の御事跡に心を寄せ聞き入っていました。また、綱村公の御事跡を称え永く後世に伝える為、青山公三百年遠忌記念顕彰碑建立実行委員会が組織され、祭務所前に顕彰碑を建立し、除幕式が執り行われました。

式には伊達泰宗氏を始め塩竈市長、当社宮司、綱村公の御位牌が納められている松巖山東園寺住職千坂成也氏や協賛者が出席しました。

昨年十月二十日、仙台藩第四代藩主綱村公(青山公)の三百年遠忌を記念して、シンポジウム「伝える 伊達綱村公の思い」が社務所大講堂において開催されました。

伊達家十八代当主伊達泰宗氏による基調講演「歴史に学ぶ 子孫へと伝える言葉」の後、「伊達家と塩竈・鹽竈神社」をテーマにパネルディスカッションが行われました。来場者は塩竈の街の恩人であ



責任役員 就任奉告祭

昨年十月十一日、鹽竈神社別宮において、責任役員就任奉告祭が責任役員・総代参列のもと斎行されました。

今回責任役員に就任された渡會邦彦氏(榎渡會代表取締役会長)には、祭典後、宮司より委嘱状が交付されました。

養成所通信

合同実習に参加

当神職養成所では昨年十月二十六日から二十九日にかけて、神職養成機関普通課程合同実習Iに参加しました。

全国六箇所の神職養成機関より神宮に集った生徒らは、内宮・外宮を参拝し五十鈴川での禊や神宮神職の講話を受講しました。

四日間の日程を通じ、生徒らは神職としての素養を修養したほか、他の養成所生徒との交流を深めました。実習終了後は修学旅行を実施し、近畿地方の著名大社を参拝しました。

大 海 安 漁 上 産 満 安 祈 足 全 願	三月 十日 十八日 二十九日	帆馬塚慰霊祭 神馬塚慰霊祭 志波彦神社例祭	二月 三日 五日 十一日 十七日	節分祭 旧正月 紀元正祭 祈年祭	一月 一日 二日 三日 四日 十五日	大歳旦饌 元始饌 鏡人饌 松明祭	毎月 一日 六日 十日 二十九日	朔月次祭 曲木神社月次祭 御釜神社月次祭 鹽竈神社月次祭 志波彦神社月次祭	祭事暦 (三月から)	五 家 穀 家 内 安 全 全
										家 五 国 内 穀 家 安 豊 安 全 全 泰

授与品案内

お馴染みの「うまくいく守」。亥歳にあたり、亥の飾り金具のついた今年一年限定です。御守専用の袋入りで、初穂良は千円です。何事もうまくいきますように。



うまくいく御守

銅板奉納者芳名

御奉納いただいた銅板は、御社殿の御屋根葺き替えの際に用いられます。

九月から十一月にかけて、多くの方々より銅板の奉納をいただきました。(敬称略)

- 九月 大阪府 松永 信夫 ほか七十三名
- 十月 滋賀県 鶴澤 清介 ほか三十名
- 十一月 群馬県 坂井 恵子 ほか八十七名

文芸欄

幾度の夢を重ねて冬紅葉雲に雲重なる渦や神送り 駅頭の人の丈越す草の花 未来への微かな望み冬木の芽 冬の鴉太陽隠す雲を見て 舟唄や秋を流して最上川 廃校となりて残りし冬紅葉 コック帽脱ぎて勤労感謝の日 小春日の叔父の長持唄と嫁ぐ 引き潮の運河の渦の小春かな

- 太田 サチコ
- 神野 礼モン
- 渡辺 智賀
- 佐々木 和子
- 武田 香津子
- 今田 須美子
- 大友 セツノ
- 横田 みち子
- 上田 由美子
- 山田 桃晃

謹賀新年

平成三十一年 己亥 元旦

志波彦神社
鹽竈神社

- 出仕 巫女
- 権宮司 権宜
 - 近藤 道博
 - 野口 次郎
 - 大瀧 博司
 - 鈴木 重和
 - 前川 成文
 - 菅原 慶太
 - 菅池 重忠
 - 小栗 雅仁
 - 藤澤 瑞朗
 - 柏木 岳史
 - 浅野 満昭
 - 三品 博隆
 - 菅原 治彦
 - 栗生 貴史
 - 菅野 祐太
 - 笹木 賢一
 - 高橋 友紀
 - 菊地 明日香
 - 作間 夏美
 - 伊藤 紗也佳
 - 高橋 美侑
 - 千田 里加子
 - 佐々木 みづか
 - 佐藤 千颯
 - 櫻井 香菜子

赤豆

新年明けましておめでとうございませう。今年一年が皆様にとって良い一年となります事を祈りいたします。(慶)



- 苑 丁
- 事務員
- 学芸員
- 釜社守
- 嘱託
- 鹿沼 綾乃
- 稲富 千愛
- 阿部 すみれ
- 佐藤 美月
- 高橋 賢
- 佐藤 勝彦
- 阿部 裕一
- 西塚 里絵
- 伊勢 彰博
- 伊藤 道則
- 茂木 裕樹
- 伊勢 章子
- 松田 和子
- 板宮 徳行